

北海道士幌農業高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和6年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 『志』プロジェクトを活用した、生徒の個々の目的意識の向上を図る。 (2) プロジェクト学習を中核としたPDCAサイクルを意識した活動	A	○『志』プロジェクトにおける実践を通じたキャリア教育の充実を図る。 ○教科・科目の学習においてPDCAサイクルを活用し、科学的なものの見方を育成する。
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) 普通教科との連携による外国語学習の充実（ALTの活用） (2) GAPとHACCPの実践と発信 (3) アメリカ合衆国やキルギス共和国との生徒・教員間の交流	A	○町の英語教育と連携した活動を行う。 ○GAP・HACCPなど世界標準規格の適用をSNSなどによる広報及び教育活動へ活かし意識向上を図る。 ○諸外国と対面やオンラインによる交流を行う。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地域特産物を活用した栽培方法の検討 (2) IoTを活用した農作業の見える化、効率化の検討	B	○ドローン、トラクタの自動操舵などの機械とインターネットを繋いだ、新しい農業技術を積極的に修得する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域食材を用いた加工食品の開発とマーケティング学習 (2) HACCP認証取得後の衛生管理手法の実践 (3) 衛生管理機器の活用	B	○「志Lab」や専攻班による生徒の主体的な活動意識を育み、未利用資源の活用方法について実践する。 ○HACCPの衛生管理を地域へと広める活動を行う。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 農業教科内での環境に配慮した教育の実践 (2) 課題研究「環境専攻班」によるプロジェクト活動の推進	A	○農業教科全体で持続的な農業を推進し、環境を守るための共通認識を図る。 ○地域の防風林の保全などを通して、地域環境を守る。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) ふるさと納税を利用した地域振興 (2) 新たな食材の開発・試作 (3) 地域の観光資源の発掘	A	○ふるさと納税の取組を行政と連携し行う。 ○シーベリー等の地域食材を活用した商品を開発する。 ○士幌町の魅力を伝えるための情報を発信する。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 地域の魅力を発信する取組の実践 (2) ICTの農業分野への効果的な活用を探究	B	○地域イベントへの参加により地域振興に貢献する。 ○情報端末の積極的な活用により、スマート農業はじめ最先端技術の知識技術を習得し、探究的な学びを支援する。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域の防災を、避難訓練等を通じて防災意識を育む。	A	○防火避難訓練やシェイクアウトなどの訓練を実施して、防災意識を醸成する。 ○一日防災学校を実施して、災害時に自らができることを学ぶ。